

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		第4次拡張事業						予算事業名		市制施行60周年記念事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	水道法				
			02	01	07	65	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業				
	2-5安全な水を安定供給できるまちづくり(上水道)												
	①安全で安定した水の供給							担当課係等	水道課				
	3全市給水を目的とした配水管の布設拡張								工務係				
事業期間		継続 (昭和60年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
全市給水を目標に配水管布設工事(拡張)を進めることにより、公衆衛生の向上、福祉の増進と産業の振興を図り、健康で文化的な都市づくりを目指す。							・公衆衛生の向上(地下水の汚染)、地盤沈下の抑制、文化的生活の向上を図る必要がある。 ・水需要の増により水源・施設の拡張を行う。また、県水及び地下水の取水による全市安定供給を目指す。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
全市給水を目標に区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張事業を行う。							・市内全戸 ・水道管						
							【事業をとりまく環境の変化】 ・公衆衛生の向上(地下水の汚染)、地盤沈下の抑制、文化的生活の向上を図る必要がある。 ・水需要の増により水源・施設の拡張を行う。また、県水及び地下水の取水による全市安定供給を目指す。						
【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】				【令和5年度 事業内容】					
区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張事業				区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張事業				区画整理事業地内や未整備地区への配水管の拡張事業					

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	28,000	38,000			
	その他	1,599	2,845			
	一般財源	0	0			
歳入計(千円)		29,599	40,845			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	12 委託料	736	750			
	14 工事請負費	28,863	40,095			
歳出計(千円)(A)		29,599	40,845			
伸び率(%)			37.99			
備考	総合計画86, 87ページ 予算書402, 403ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	配水管布設	km	目標	3.00	1.00	3.00
			実績	0.81	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	水道普及率	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	98.60	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	公衆衛生の向上（地下水汚染）、文化的生活の向上を踏まえた事業は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法的にも行政が行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	区画整理事業地内等の住宅密集地は料金回収コスト効率は良いが、四川地区（特に不採算地区）への配水管布設は料金回収コストが悪い。
公平性	受益者の偏り	C 偏りがある	老朽化した施設更新や企業償還を行うために内部留保した資金を本事業に充てている面があり、水道利用者間、世代間の公平性に偏りがある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	概ね全市給水化は図られているが、非住宅地への普及は遅れている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	ある程度進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
配水管の拡張事業は区画整理事業地域及び非住宅密集地域への整備が主であるが、地域によっては投資効果が表れない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
第4次拡張事業（特に区画整理区域内）を早期に終結し、石綿管更新事業を増したい。 北西部区画整理区域内の第4次拡張事業について、水道利用者間及び世代間の公平性を保つため、設計業務委託・工事実施の負担金の再開を協議する。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 施工にあって、採算性など費用対効果を検討し、区画整理事業の進捗並びに地域の実情を考慮しつつ引き続き事業の推進を図っていく。 。 工事負担金については、関係各課との協議を進める。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	